

多摩手土産プロジェクト 発表

3年 山本(雅) 鈴木 橋本
山本(翔) 稲葉 山田
2年 五十嵐 真田 三谷

久恒ゼミ 手土産プロジェクトとは…

きっかけ

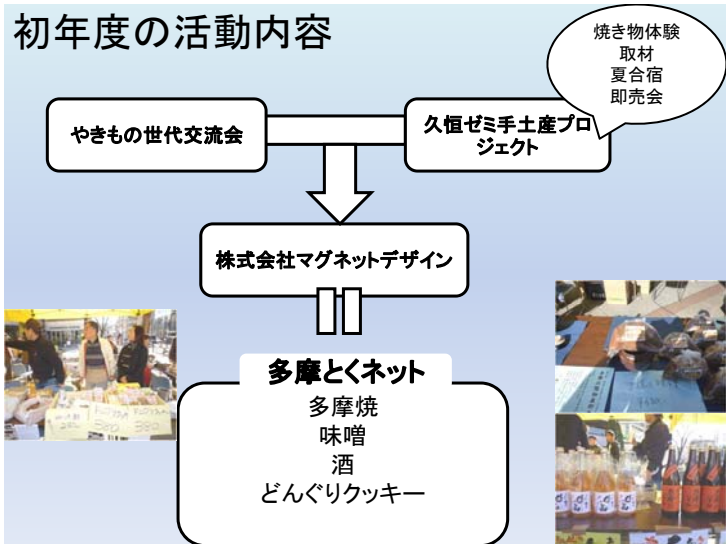
焼き物世代交流会代表 水野さんから依頼

目標

多摩にも立派な手土産があることを広め、
最終的にはネット販売を目指す

知られざる名品「多摩焼」を世に広め、地域おこしに繋げようと、地域特産品を紹介するウェブサイト「多摩とくネット」を立ち上げた。

初年度の活動内容



昨年報告会から現在までの活動



多摩とくネット

多摩とくネットとは
2010年4月に完成した手土産プロジェクトが管理・更新しているホームページ
内容は多摩焼・多摩うどん・桜の塩漬け・福ホドル大福・どんぐりクッキー etc...

多摩うどん

多摩うどんのきっかけ

冷凍うどんを食べたらとてもおいしかったことから「これなら障害者ともできる」と思ったから。また多摩は昔からうどんに馴染み深いことから「多摩うどん」が始まった



商品の自慢

- 揚げ釜: わざわざ揚げるオリジナルあげ玉
- つゆ: かつを・煮干し・昆布を京都から取り寄せ
- 多摩の地粉: 10%ブレンドする多摩独自の製麺

福ホ多ル大福

福ホ多ル大福のきっかけ
50年前に東寺方小学校にホタルがいた。そのホタルを復活させるための資金集めのため。



商品の自慢
味が薄味で触感がよく推しても食べやすい。

桜の塩漬け

桜の塩漬けのきっかけ
多摩のお土産を作ろうと考えたときに、生産物はないので聖蹟桜ヶ丘の昔は森のようにたくさん植えられていた桜を使って桜の塩漬けを使った商品を商店街で出してもらえないかと思った。



商品の自慢
明治天皇がよくうさぎ狩りに来ていたというこの“聖蹟桜ヶ丘で採れた桜”を使っているということ。

夢灯り①



夢灯り②



夢灯り③



来年の課題・目標

今年残った課題

- ・認知向上
- ・イベントへの参加数増加
- ・ゼミ生のモチベーションの変化



来年の目標

- ・主にPR活動そしてHP強化へ
- ・年間通してイベント参加と
新規開拓行動
- ・新たな活動展開

来年やりたいこと

- ① 大妻女子大学炭谷ゼミとの連携
- ② イベントの継続参加・新規開拓

炭谷ゼミとは

行っている活動例

・携帯電話教室

ゼミ生が教師となり高齢者に無料で携帯電話の使い方を教える教室



・FLAP作り

多摩の魅力を探す
フリーペーパー作り

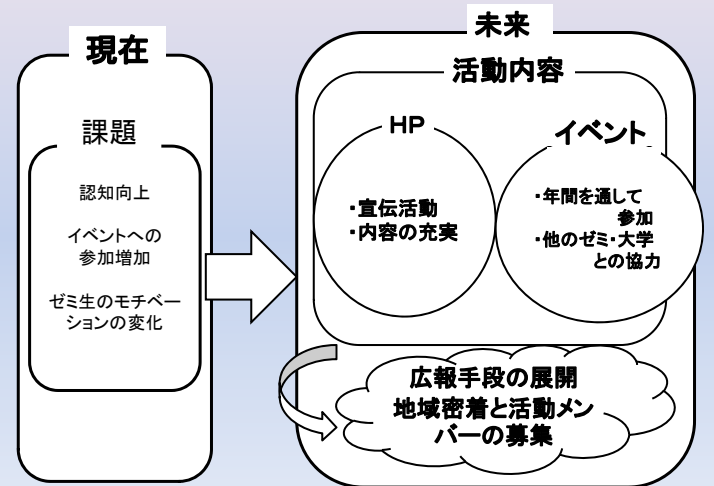
など



今年度お世話になった方々

焼き物世代交流会 水野さん
 多摩私立永山公民館 鈴木館長さん
 多摩私立永山公民館 菊地主任さん
 多摩うどん「ぽんぽこ」 足利店長さん
 多摩うどん「ぽんぽこ」 岡崎さん
 三多摩学童保育連絡協議会事務局長 妹尾さん
 どんぐり倶楽部代表 須藤さん
 等々

現在と未来の多摩手土産プロジェクト



ご清聴ありがとうございました

